

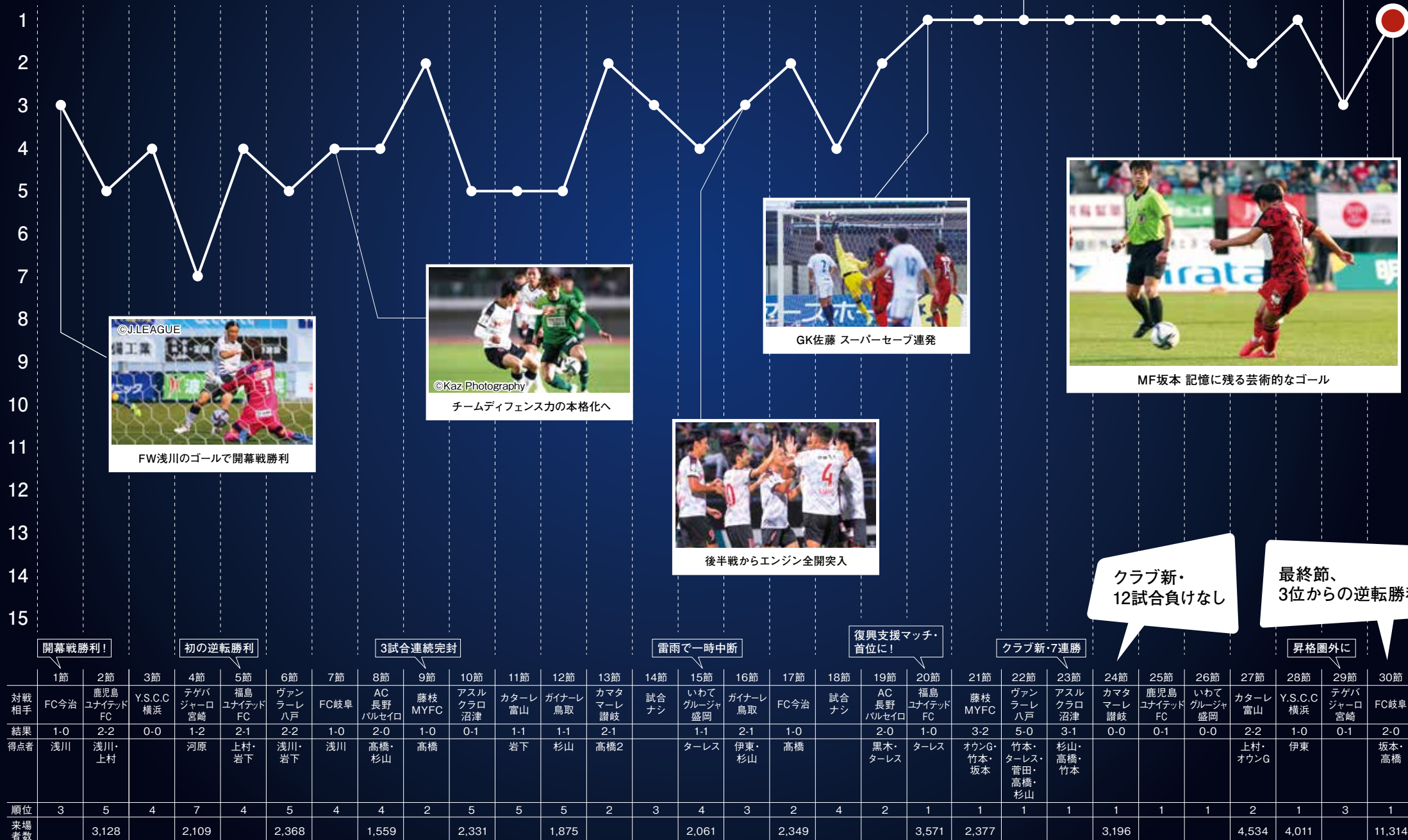
REPORT 2021

roasso
kumamoto



SEASON RESULTS

全試合成績グラフ



▶ 2021 明治安田J3リーグ順位表

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	ロアッソ熊本	54	28	15	9	4	39	20	19
2	いわてグルージャ盛岡	53	28	15	8	5	43	28	15
3	テゲバジャーロ宮崎	53	28	16	5	7	44	31	13
4	カターレ富山	46	28	13	7	8	40	34	6
5	福島ユナイテッドFC	45	28	13	6	9	41	32	9
6	FC岐阜	41	28	12	5	11	38	35	3
7	鹿児島ユナイテッドFC	40	28	11	7	10	34	35	-1
8	Y.S.C.C.横浜	40	28	11	7	10	31	33	-2
9	AC長野パルセイロ	36	28	8	12	8	35	28	7
10	藤枝MYFC	32	28	8	8	12	42	42	0
11	FC今治	30	28	7	9	12	34	33	1
12	ガイナレ鳥取	29	28	9	2	17	36	53	-17
13	ヴァンラーレ八戸	29	28	7	8	13	24	44	-20
14	アスルクラロ沼津	27	28	7	6	15	32	44	-12
15	カマタマーレ讃岐	21	28	4	9	15	20	41	-21

J2昇格

▶ 2021 平均来場者数

	平均 / 合計
1 鹿児島	3,738
2 岐阜	3,505
3 熊本	3,342
4 富山	2,780
5 長野	2,518
6 今治	1,661
7 沼津	1,482
8 讃岐	1,475
9 岩手	1,394
10 藤枝	1,323
11 鳥取	1,186
12 YS横浜	1,157
13 八戸	1,137
14 宮崎	1,124
15 福島	877

J3リーグ平均来場者数 1,913人

▶ PLAYER STATS/ J3リーグ・ランキング1位選手

パス数	1963	DF黒木晃平
ドリブル成功数	67	MF杉山直宏
空中戦勝利数	163	DF菅田真啓
クリーンシート回数	13	GK佐藤優也



～2021シーズンを振り返る～ 織田GMに聞く

先ず、GMから監督、スタッフ、選手たちに向けて一言お願いします

織田GM) 力の拮抗するリーグ戦を最後まで粘り強く闘い、クラブにJ2昇格、そしてJ3優勝という栄冠をもたらしてくれた監督、選手、スタッフには感謝の気持ちでいっぱいです。彼らの努力を大いに称えたいと思っています。また、どんなときもチームや選手を激励、鼓舞して支えてくださったサポーター、行政、パートナー企業の皆さんにも心からお礼を申し上げます。さらには縁の下の力持ちとしてチームをバックアップしてくれたフロント職員にもこの場を借りて感謝を述べたいと思います。

昇格はもう少し早い時期に決まるように思いましたが、最終戦での決定となりました

織田GM) 早々に昇格を決めるに越したことはありませんが、残念ながら我々にはそれを果たすための、他クラブを圧倒できるだけの力はありませんでした。目の前の試合を粘り強く泥臭く闘い、試練を乗り越えて積み上げた勝点54が、待望のJ2昇格に繋がりました。カテゴリーはJ3であっても、本当に厳しいリーグ戦でした。ただ最終戦に、しかもホームで11,314人もの皆さんの前で挙げた劇的な勝利により昇格を達成できたことには、意図した展開ではないだけに感慨深いものがあります。

昇格までの道のりで、GMから見てターニングポイントの試合はありましたか？

織田GM) 東京オリンピック開催に伴い、夏場に約1か月半の中断期間を挟んだ後半戦スタートからの7連勝の先駆けとなった第16節vs鳥取戦の勝利がターニングポイントではなかったで

しょうか。前半に先制したものの、後半早々に追いつかれて嫌なムードが漂い始めたところで追加点を挙げて相手を突き放すことができました。ここ数年、前半戦の出足は良いものの夏以降の後半戦に失速して順位を落とすことで3年前はJ3降格を喫し、そして2年前、昨年とJ2昇格を逃してきました。今年は夏場に充実したトレーニングを積めたことで、後半戦の飛躍に向けたエネルギーを蓄えることができました。

シーズンを通して、チームはどのように成長しましたか？

織田GM) 苦しい時間帯でも声を出し合いしっかり我慢して守り切る、簡単には失点をしない守備の粘り強さ、そしてチャンスとなれば一気呵成に相手ゴールに迫る力強さを発揮できるようになりました。また、ゲーム状況に応じてマークの付き方やボールの動かし方について監督からの指示だけではなく、選手自身が判断して微調整を加えることができるようになりました。さらには日々のハードなトレーニングを通じて選手個々のレベルも上がってきました。前半戦と後半戦ではスターティングメンバーも異なり、試合中の選手交代もチームをパワーアップすることとなりました。様々な個性を持つ選手たちの層が厚くなり、質、量ともにメンバー選択の幅も広がったことと思います。

大木体制2年目で、アクションサッカーが浸透し、かなり進化したように見えますが

織田GM) 大木監督は練習中から選手に対して「足を止めないこと」、「素早く攻守を切り替えること」を強く要求しています。日々の厳しいトレーニングの積み重ねにより、選手にもそれが習慣化されてきました。相手ボールを果敢に奪いに行く、

奪ったボールを前に運ぶ、シュートで完結させる、攻守に渡ってイニシアティブをとるアクションサッカースタイルをさらにブラッシュアップしていきます。

J3リーグ最少失点で、昨シーズンとは違い守備力が改善され安定してきたと思います

織田GM) 昨年はリーグ1位の得点力を誇りながら、失点の多さで昇格圏には程遠い8位という順位に甘んじてしまいました。その反省にもとづき、今年は選手の特徴を生かしながら守備力を高めるフォーメーションの変更に取り組みました。また、トレーニングの中での球際の激しいバトルにも選手が意欲的にチャレンジしていました。その成果がリーグ最少失点でのJ3優勝につながりました。

J3リーグで3年間戦いましたが、J3のレベルや戦い方や難しさはありましたか？

織田GM) J3はずば抜けた力を持つクラブは存在せず、各クラブの力が拮抗しており、勝点を計算することがとても困難な厳しいリーグでした。熊本から遠方の東北のチームも多く、長距離移動による選手への負担もかなりあったことでしょう。その上でピッチ上では最高のパフォーマンスを発揮するタフさが求められました。また、チームによってはフィジカルの強さを前面に押し出してくるチーム、しっかりリトリートして鋭いカウンターを狙ってくるチーム、またボールポゼッションから攻撃を仕掛けてくるチームなど様々な特色を持ったチームがあります。それらのチームとの対戦を通じて我々自身も一つの闘い方だけではなく、様々な戦い方を習得することができました。

日頃から大木監督とのコミュニケーションが豊富でしたが、主にどのようなことを話していましたか？

織田GM) ここ3年で大卒選手を含めてルーキーが活躍し、結果を出していますね。ロアッソに加入後の彼ら自身の努力はもちろん、大木監督を始めスタッフの熱心で根気強い指導の賜物が結果に表れています。新卒で加入してくる選手は、筑城強化担当が時間と労力をかけて視察を繰り返して発掘し、採用してきました。我々の目指すチームスタイルが明確になっていることから採用候補となるタイプの選手を探しやすいこと、そして選手やその指導者の方々も、ロアッソに加入することで選手がどのように成長できるのかイメージしやすくなったのではないのでしょうか。また近年ロアッソで主力として活躍した後、上位カテゴリーのクラブに移籍して更にそのクラブで実績を積み重ねている選手も多々います。ロアッソは「選手が成長できるクラブ」としてのブランドが確立されつつあると感じています。

「選手を育てる」という「育成型」に他クラブとは違った強みを感じますが

織田GM) クラブの置かれた環境によって、大枚をはたいて即戦力となる選手をかき集めるチーム作りもあれば、限られた予算の中で選手を育てながらチームを作るというやり方もあります。自前のアカデミー選手、新卒採用選手、他クラブからの移籍選手など加入のルートは様々であっても、目先の結果追求のために刹那的な投資をするのではなく、長期的な視野にもとづいて育成をベースとした堅実なチーム作りがローカルクラブとして我々が生き残る道ではないかと私は考えています。「熊本のために頑張りたい」、「選手として成長したい」、そういった強いモチベーションと向上心があれば必ず選手は成長し、チームは強化されます。そんな選手とスタッフの集まりであることが他クラブより秀でた我々の強みです。

2022シーズンは4年ぶりにJ2の舞台ですが、どのような戦いになりそうですか？

織田GM) J2リーグはJ3から単に1カテゴリー上がるというだけではなく、フットボールの観点からすれば技術、フィジカル、スピード、戦術的判断、メンタルといった様々な要素が2ランク、3ランク上のレベルです。J2に昇格したからと言って簡単な闘いのできるリーグではないことは覚悟しています。とはいえリトリートして相手の攻勢に耐え忍ぶスタイルではなく、今まで通り攻守ともに主導権を取る我々のサッカースタイルをしっかりと追求していきます。もちろん相手チームとの力関係、ゲーム状況やチーム成績により違った闘い方を選択せざるを得ない局面もあるかもしれません。自分たちのプレースタイルに固執するのではなく、状況に応じて臨機応変に闘える柔軟性も持ち合わせる必要があるでしょう。勝利という結果に注力することはもちろんですが、目の前の一戦一戦に精一杯力を出し切る、走り抜く、闘い抜く、熊本の皆さんにその姿をお見せすることで「元気」と「夢」と「活力」をお届けします！

織田秀和 (hidekazu-orita)
ロアッソ熊本GM (ゼネラルマネージャー)

プロフィール
2018シーズンよりロアッソ熊本のGMに就任。育成型手腕を発揮し2021シーズンロアッソ熊本をJ2昇格に導き、唯一全てのカテゴリーで優勝を経験する。元サンフレッチェ広島の前社長で、同クラブ強化部長時代には、地方クラブが生き残る手段としてサッカースタイルを攻撃的で魅力的なものへと模索し、その中で広島アカデミー (育成組織) を充実させた。その後、社長就任時にはJ1リーグで1度優勝へ導いている。

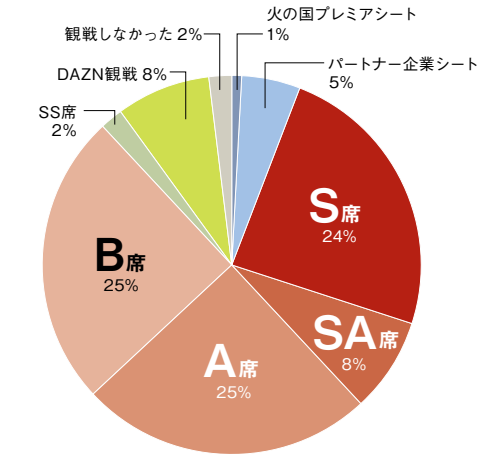


2021シーズン観戦体験満足度調査データ

※11/14富山戦、11/21YS横浜戦、12/5岐阜戦をwebアンケートにて実施 有効サンプル1,552

試合はどのように観戦されましたか？（席種またはDAZN）

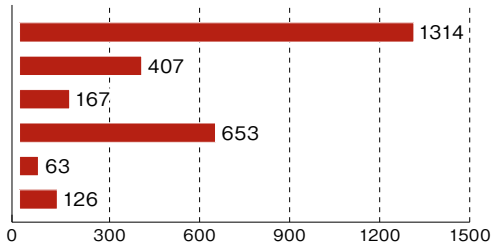
	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
火の国プレミアシート	1	4	4	9
パートナー企業シート	25	12	43	80
SS席	11	7	12	30
S席	134	95	151	380
SA席	29	20	69	118
A席	134	70	186	390
B席	143	88	163	394
DAZN観戦	34	34	52	120
観戦しなかった	13	7	11	31
合計回答数	524	337	691	1552



【スタジアムで観戦された方への質問】

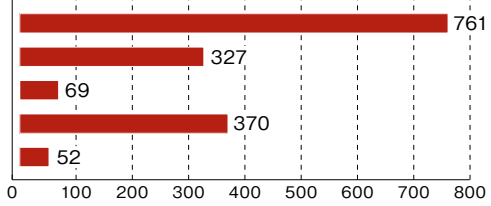
今回来場されたきっかけはどういった理由ですか？（複数回答可）

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
クラブを応援しているから	455	285	574	1314
好きな選手がいるから	142	89	176	407
対戦カードが魅力的だから	47	23	97	167
スタジアムの雰囲気が好きだから	207	158	288	653
家族・友人・知人などに誘われたから	13	7	43	63
その他	31	21	74	126
合計回答数	895	583	1252	2730



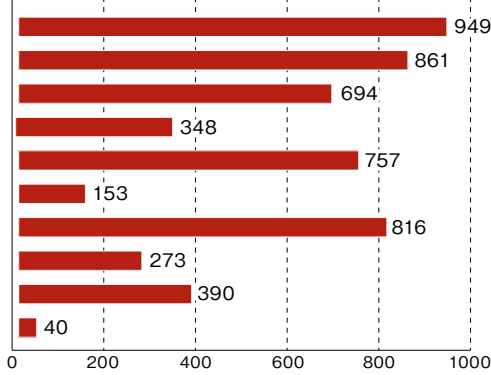
今回の試合は誰と観戦しましたか？（複数回答可）

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
家族	242	159	360	761
友人	118	46	163	327
仕事仲間	19	11	39	69
ひとり	139	91	140	370
その他	21	8	23	52
合計回答数	539	315	725	1579



どうしたら、あなたは家族・友人・知人などをロアッソ熊本の試合に誘いたいと思いますか？（複数回答可）

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
勝つ試合が多ければ	335	186	428	949
試合内容が面白ければ	286	180	395	861
所属リーグのカテゴリーが上があれば	256	161	277	694
有名な選手が加入すれば	116	65	167	348
スタジアムが楽しければ	257	167	333	757
スタジアム施設（トイレ等）の利便性が向上すれば	48	31	74	153
スタジアムへのアクセスや駐車場環境が向上すれば	290	167	359	816
チケットが安くなれば	84	59	130	273
新型コロナウイルスの感染拡大が収束したら	148	85	157	390
その他	20	8	12	40
合計回答数	1840	1109	2332	5281



あなたの観戦体験について、以下設問に対して満足度を5段階評価にてお聞かせください。

スタジアムへのアクセスや駐車場環境

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	13	15	27	55
4	44	26	48	118
3	91	60	147	298
2	169	116	201	486
1	160	79	207	446
合計回答数	477	296	630	1403

スタジアムの衛生環境

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	136	107	230	473
4	188	114	216	518
3	126	64	147	337
2	26	9	29	64
1	1	2	6	9
合計回答数	477	296	628	1401

試合そのものの内容

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	41	127	422	590
4	152	106	148	406
3	139	49	50	238
2	98	12	6	116
1	47	2	2	51
合計回答数	477	296	628	1401

スタジアムでのホームゲーム観戦に家族や友人、知人などを誘いたいと思いますか？

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	175	124	328	627
4	149	97	191	437
3	114	64	90	268
2	27	7	12	46
1	12	4	7	23
合計回答数	477	296	628	1401

ホームゲームにご来場のファン・サポーターの観戦体験をより一層向上させていきたいと考え、2021シーズンホームゲーム3試合（11/14カタレ富山戦、11/21Y.S.C.C横浜戦、12/5FC岐阜戦）の観戦体験に関するウェブアンケート調査を実施。アンケート調査は、ファンクラブ・シーズンシート会員の皆様へのDM配信、クラブ公式ホームページ及びクラブ公式SNS配信にて、各試合実施後に展開した。

スタジアムでの新型コロナウイルスの感染拡大防止対策（運営側）

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	177	124	228	529
4	164	104	197	465
3	119	59	172	350
2	14	7	22	43
1	3	2	9	14
合計回答数	477	296	628	1401

スタジアムでのサービスやイベント（試合以外）

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	124	99	191	414
4	182	118	231	531
3	140	70	161	371
2	26	7	39	72
1	5	2	6	13
合計回答数	477	296	628	1401

スタジアムでの観戦体験の総合評価

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	92	114	319	525
4	251	142	258	651
3	116	36	43	195
2	17	3	7	27
1	1	1	1	3
合計回答数	477	296	628	1401

スタジアムでのスタッフの対応

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	239	162	312	713
4	165	85	201	451
3	68	43	103	214
2	5	5	7	17
1	0	1	5	6
合計回答数	477	296	628	1401

スタジアムでの応援の楽しさや一体感

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	227	159	398	784
4	162	95	158	415
3	74	36	54	164
2	13	4	14	31
1	1	2	4	7
合計回答数	477	296	628	1401

またホームゲームをスタジアムで観戦したいと思いますか？

	11月14日	11月21日	12月5日	合 計
満足度 5	371	249	512	1132
4	74	40	88	202
3	27	6	26	59
2	4	0	1	5
1	1	1	1	3
合計回答数	477	296	628	1401

考 察

満足度の調査結果は、①試合内容及び結果に観戦者の満足度が大きく左右される傾向がみられた。②応援の楽しさやスタジアムの一体感と併せて、身近な人を試合観戦に誘う行為に大きく影響を与える。③スタジアム以外のサービスやイベントがお客様の楽しみにつながっている。④新型コロナウイルスの感染対策には、スタッフの対応やセキュリティ面でおおむね安心感を得られた。以上のことから、期待値が高い試合内容や結果と同等に、お客様にスタジアムで楽しんでいただくための演出や、より安全で安心できる快適な環境を整え、多くの方々に楽しんでいただけるよう笑顔溢れるスタジアムの空間をつくるのが大切である。一方、大きな課題として、スタジアムまでのアクセスや駐車場の不足問題が多く挙げられている。せっかくスタジアムまで足を運ぼうと思っても、この問題が足かせとなり、ファン拡大の大きな妨げとなってしまう。当クラブとしても、民間会社と駐車場の拡大や行政との話し合い等を行い、さまざまなアプローチによる解決策を見出さなければならない。

アンケート調査にご協力くださった皆様に、感謝申し上げます。

ロアッソ熊本財務報告

2021年度着地見込は、営業収益528,101千円(前年実績比35,622千円増)、営業費用が564,730千円(前年実績比7,437千円増)を見込んでおり、▲37,914千円(前年実績比3,053千円減)の2期連続赤字となる見込である。主な増減要因は移籍金収入の計上とJ3リーグ優勝に伴う優勝賞金やグッズ収入など臨時収入を計上出来たことである。2022年度予算は営業収益が738,700千円(前年予算比180,950千円増)、営業費用が721,640千円(前年予算比168,078千円増)とし、12,568千円の黒字予算としている。

▶ 2021 年度財務報告及び 2022 年度予算

単位:千円

科 目	2020年度 実績	2021年度 着地見込※	差 額	2021年度 予算	2022年度 予算案※	差 額
営業収益	492,479	528,101	35,622	557,750	738,700	180,950
スポンサー収入	320,527	316,210	-4,317	365,000	400,000	35,000
入場料収入	49,223	52,325	3,102	49,000	80,000	31,000
Jリーグ配分金	30,033	30,161	128	30,000	158,000	128,000
賞金		5,000	5,000			
アカデミー関連収入	2,232		-2,232			
物販収入	38,129	49,183	11,053	36,000	52,000	16,000
その他収入	52,335	75,222	22,887	77,750	48,700	-29,050
営業費用	557,294	564,730	7,437	553,562	721,640	168,078
チーム人件費	240,416	247,453	7,038	240,462	331,200	90,738
試合関連経費	31,397	28,881	-2,516	33,200	47,100	13,900
トップチーム運営経費	67,991	59,672	-8,319	64,900	87,900	23,000
アカデミー運営経費	5,973		-5,973			
物販関連費	37,799	47,597	9,798	30,950	42,060	11,110
販売費および一般管理費	168,816	174,729	5,913	177,800	206,880	29,080
減価償却費	4,902	6,398	1,496	6,250	6,500	250
営業損益	-64,815	-36,629	28,186	4,188	17,060	12,872
営業外収益	34,580	2,513	-32,067	1,400	3,000	1,600
営業外費用	2,471	1,598	-873	400	1,600	1,200
経常損益	-32,706	-35,714	-3,008	5,188	18,460	13,272
特別利益	70		-70			
特別損失						
税引前当期純利益	-32,636	-35,714	-3,078	5,188	18,460	13,272
法人税など	2,225	2,200	-25	3,238	5,892	2,654
当期純損益	-34,861	-37,914	-3,053	1,951	12,568	10,617

※2021年度着地見込及び2022年度予算については2021年12月24日に作成。 ※千円未満は四捨五入、端数調整なし。

2021年度財務報告

① スポンサー収入が316,210千円(予算見込比▲48,790千円)の見込であり、赤字の主要因

② J3リーグ優勝したことで13,000千円以上の収益増加の好影響

上記トピックで示した通り、今期の赤字の主要因はスポンサー収入の予算未達による。365,000千円の予算に対して、着地見込は316,210千円(予算見込比▲48,790千円)となる。J3リーグ優勝による臨時収益を計上できたが、約50,000千円のスポンサー収入減をその他の収入で賄うことが出来ず、2期連続の赤字見込となる。

2022年度予算方針

① J2リーグ昇格によりJリーグ配分金が158,000千円(前年予算比128,000千円増)となる

② スポンサー収入が400,000千円(前年予算比35,000千円増)となる

③ J2リーグ昇格により試合数が増加する為、入場料収入が80,000千円(前年予算比35,000千円増)、グッズ収入が52,000千円(前年予算比16,000千円増)となる

2022年度予算はJ2リーグに昇格したことにより、Jリーグ配分金が約1.2億円増加する。スポンサー収入に関しては2021年度見込比で約8,400万円と高い予算設定となっているが、J2クラブのスポンサー収入の平均が8.8億円(2020年度)となっており、スポンサー収入予算4億円はJ2クラブの中では非常に低い予算である。また、試合数増加とJ2リーグの価値を鑑みて、入場料とグッズ収入予算を合算して前年予算比で約50,000千円増加としている。また、J2リーグに残留する為、十分な強化費とは言えないもののチーム人件費を331,200千円(前年予算比90,738千円増)としている。以上により2022年度予算は12,568千円の黒字を見込んでいる。

▶ 2020年 J2在籍クラブ 営業収益(売上高)

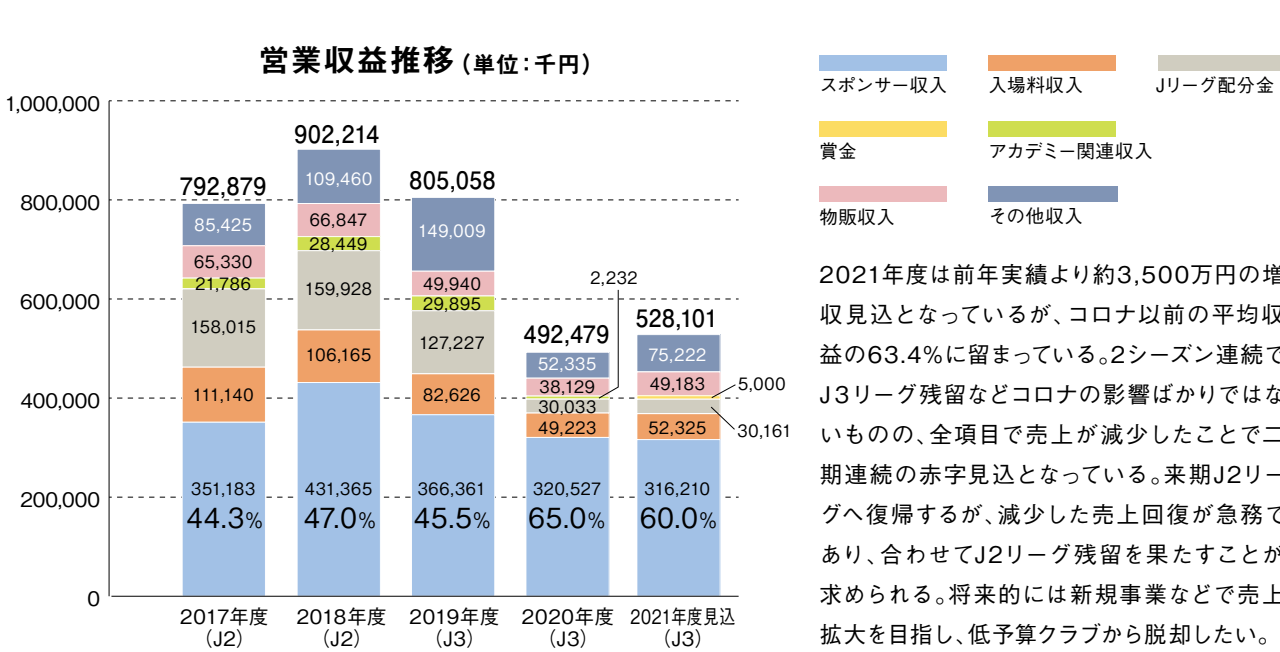
(単位:百万円)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
大宮	磐田	千葉	新潟	京都	松本	長崎	山形	徳島	福岡	東京V	
3,034	2,867	2,503	2,194	2,101	1,928	1,858	1,674	1,672	1,538	1,493	
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
岡山	町田	甲府	山口	北九州	栃木	愛媛	水戸	金沢	群馬	琉球	平均
1,362	1,253	1,229	1,043	986	855	805	762	665	622	560	1,500

2020年のJ2在籍22クラブの平均営業収益は1,500百万円で、15クラブが1,000百万円以上の営業収益を占めている。2020年のデータをみると、2021シーズンJ1に昇格したクラブは磐田、京都で、営業収益の高い2チームである。営業収益が1,000百万円以下7クラブのうち北九州、愛媛の2クラブが

降格し、栃木、金沢、群馬の3クラブが降格争いをしていた。2022年、J2に在籍するロアッソ熊本の営業収益予算案は約740百万を想定しており、データからみると厳しい戦いを強いられそうである。スポンサー収入を中心に、早い段階で1,000百万円以上の営業収益を目指したい。

▶ 直近 5 年の営業収益推移

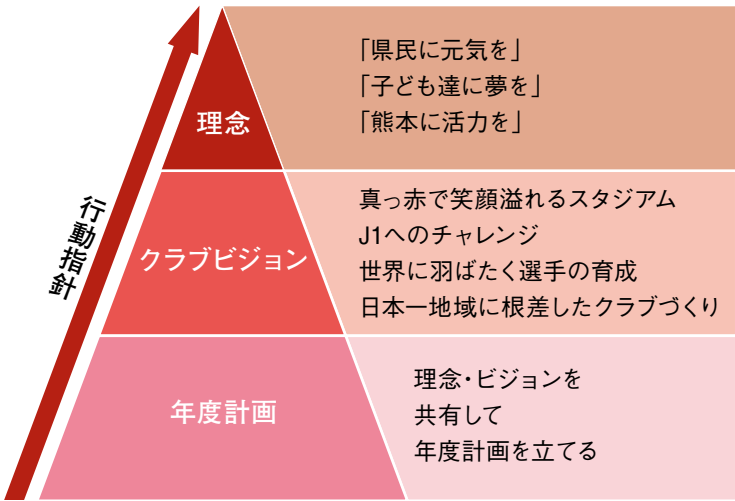


私たちが目指すもの

▶ **クラブ理念** 「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」
…お届けしたい。

私たちのすべての活動はこの理念に基づき、地域に根ざしたクラブとして、地域に生活する人々と共に発展し、子ども達に夢と希望を、地域に誇りと感動を覚えてもらうことに努め、クラブを軸としたコミュニティを築き、世界に開かれた豊かなスポーツ文化の創造に貢献します。

- クラブビジョン
- ① 真っ赤で笑顔溢れるスタジアム
 - ② J1へのチャレンジ
 - ③ 世界に羽ばたく選手の育成
 - ④ 日本一地域に根差したクラブづくり



▶ クラブ理念とクラブビジョンの解釈

県民に 元気を	子ども達に 夢を	熊本に 活力を
「J1へのチャレンジ」	「J1へのチャレンジ」 「日本一地域に根差したクラブづくり」 「世界に羽ばたく選手育成」	「真っ赤で笑顔溢れるスタジアム」 「日本一地域に根差したクラブづくり」
▶ J1やACLで戦える常勝チームをつくる。 ▶ チームの勝利がサポーターに元気を与え、日常生活の活力に。 ▶ サッカーだけではなく、性別・年代・障がいなどの多様性を考慮したスポーツによる地域貢献(健康促進・フレイル予防・障がい者スポーツなど)	▶ 「生まれ育った」熊本への愛着・地域愛・シビックプライドの醸成 ▶ 幼いころより地域と共に活動するロアッソ熊本の活動を体験することにより、郷土へ愛着を持ち、熊本でも夢を見せることにより、都市部への人口流出を防ぐ。 ▶ 世界で通用するサッカー選手の育成	▶ 交流人口増加、ロアッソの発信力を活用した熊本の魅力発信 ▶ 健全な青少年の育成および人材育成により将来の熊本を支える人材の育成 ▶ リーグ戦やクラブを活用した熊本の観光、地場の物産に貢献した経済効果



▶ ロアッソ熊本クラブスピリッツ



絆180万馬力
ロアッソ熊本では、これまでクラブスローガンとしても活用してきました「絆180万馬力」をクラブスピリッツとしました。ロアッソ熊本はこれまでも、そしてこれからも、ファン・サポーターの皆様、株主・パートナー企業の皆様、ロアッソ熊本に関わるすべての皆様と「絆」を結び、共に歩んでいきます。

▶ クラブプロフィール



チーム名・ロアッソ熊本
熊本を象徴する「阿蘇山」や「火の国熊本」から、熊本の燃える情熱を表す赤のイタリア語「ロッソ」と「アッソ」＝「エース」「唯一の」を含んだ造語で、Jリーグでもエースとなりうるナンバー1のチームを目指す決意をチーム名に込めています。

エンブレム
「馬」は選手・若者の象徴。「盾」はサポーター：盾の形は熊本県のマークから発想しています。「馬」は熊本の伝統や自然を象徴する動物です。暴れ馬と、それを盛り上げる祭りの参加者を、そのままサッカー選手とサポーターに重ね合わせました。また、大阿蘇の草原を走る馬は、フィールドを駆ける選手に見立てています。

2021シーズン スローガン「闘え！」
2021年、ロアッソ熊本はJ2昇格を勝ち取るために闘い、クラブは目標達成のために闘う、クラブもチームも同じ熱をもって全員で闘っていくという強い意志を込めています。

チームマスコット
名前：ロアッソくん 背番号：123
年齢：小学校高学年 将来の夢：ワールドカップ出場
出身地：ヒノクニ

スポンサーシップからパートナーシップへ

これまで一方的なご支援依頼でしかなかったスポンサーシップについて、今後は私達が持つファンやサポーター、自治体などのステークホルダーをパートナー企業に引き寄せ、つなげ、それを拡大していくプラットフォームの役割として機能する事を目標としています。
看板の掲出などの露出媒体としてのみではなく、様々な手法で有効にパートナー企業名の訴求や商品のPR媒体に役立

ててもらうなど、より効果的にパートナーの課題解決に貢献できる施策提案を目指すものです。
またパートナー企業とクラブがもつ双方の強みで連携し、地域における社会問題の解決に共に取り組むなど、Jリーグクラブとしか実現できないようなシナジー効果を発揮した真のパートナーシップ形成を目指して参ります。

CASE 01 パートナー企業様による スタジアムアクティビティ

ホームゲーム会場を活用したパートナー企業によるPR活動の重要性は年々増しております。
試合ピッチ上でのPR活動、コンコースエリアへのパートナー企業による商品販売会、サンプリング提供やアンケートの実施に伴う抽選会の実施など、多様なアイデアによる様々な形態でスタジアムイベントを華やかなものにして頂いております。
毎試合一定の入場者数を安定して動員し、クラブへの愛着が強いサポーターやファンの皆様が集うこのスタジアムで直接PRできる機会はパートナー企業の皆様にとっても有効な手段の一つであると高くご評価を頂いております。



CASE 02 パートナー企業様と協同での 地域貢献活動

パートナー企業である(株)九州エネコ様が2020年7月豪雨の際、校舎一部が水没してしまい、近隣の他の学校の校舎を間借りして学校生活を送っている球磨村立渡小学校の生徒たちにフットサルゴールとフットサル用のボール10球を寄贈しました。
この事業は九州エネコ様とロアッソ熊本が共同で行い、ロアッソ熊本からは同じく球磨郡の出身である宮原選手と樋口選手の動画による応援メッセージを子供たちにお届けし小学生の頃の思い出や当時の生活について、また夢を持って日々努力することの大切さなどを伝えさせて頂きました。
また式典の後には寄贈されたゴールとボールを活用して、参加してくれた6年生の子供たちを対象としたロアッソ熊本ジュニアユース人吉のコーチ達によるミニサッカー教室を実施。パートナー企業とJクラブが連携した地域復興イベントの良い事例となりました。



CASE 03 パートナー企業様との 商品開発

熊本地震から5年を迎える節目の2021年、改めて、ここから未来へと繋がる熊本の復興を応援していくために、「熊本復興応援プロジェクト」を立ち上げました。
この「熊本復興応援プロジェクト」の一環で、今回、ロアッソ熊本のパートナー企業である有限会社木之内農園様とコラボレーションした「木之内農園×ロアッソ熊本 頑張れ阿蘇! ロアッソくんの苺ジャム」を木之内農園内店舗にて販売しております。売上の一部が2023年夏頃に熊本地震からの全線復旧を予定しております「南阿蘇鉄道」へ寄付されるもので、阿蘇地域の観光資源として、そして地元住民の皆様の足として欠かすことのできない「南阿蘇鉄道」の全線復旧を、パートナー企業とクラブが連携して応援する取り組みとなります。



CASE 04 パートナー企業様による ロアッソ熊本を活用したアクティビティ

ロアッソ熊本がJリーグ入りした当初からクラブをご支援頂いております菊池地域農業協同組合(JA菊池)様では、毎年地域管内の対象区域から募集する子供達を対象として実施する食育活動「まんまキッズスクール」にて、長年ロアッソ熊本を活用頂いております。
この「まんまキッズスクール」は、田植や稲刈り、牛の搾乳体験など年間6回の食育活動を通して、将来を担う子供達へ行う食育活動のための教室ですが、ロアッソ熊本のサッカー教室はその中のレクリエーションとして毎年実施頂いており子供達に喜んでいただいております。
また、その中の希望者から毎年ロアッソ熊本の観戦ツアーを実施しており、ピッチ上の散策や選手達とのハイタッチなど、通常は体験できない特別な機会を楽しんで頂きます。



CASE 05 パートナー企業様との 新しい価値の共創

ロアッソ熊本では、「熊本の未来を担う若い人達が生き生きと働ける地域を創っていくこと」を目指し、パートナー企業の(株)マイナビと協働し、コロナ禍でも、県内の魅力あふれる企業の皆様と連携しながら、インターンシップを通じて学生のキャリアづくりをサポートしていく「ロアッソ熊本 産学連携プロジェクト2021」をスタートしました。
九州産交ランドマーク(株)様との連携では、学生達に県内有数の商業施設であるSAKURA MACHI KumamotoのPR広告を企画・デザインしてもらい、その広告を直接ファン・サポーターの皆様に届ける施策を実施してもらいました。また、J:COM様との連携では、将来メディア関連の仕事に携わりたいという想いを持つ学生の皆さんが、ロアッソ応援番組の企画・制作を通じ、実践現場での仕事を体験しました。
JA菊池様との連携では、学生の皆さんが、農家さんとJA職員、消費者の皆さんと直接触れ合いながら、珍しい秋すいかの収穫・選果・販売を実践しました。
これらの活動は、クラブとパートナー企業が連携し、地域課題に取り組むいい事例となりました。今後も新たな価値の創出や社会課題の解決といった共創価値の創出を、パートナー企業様と共に目指して参ります。



アカデミー

▶ **今期の活動について** 2021シーズンは、クラブとしてのフットボールフィロソフィーを明確にしました。アカデミーにおいても、「価値ある選手と優れた人材を生み出す」ことを念頭におき、アカデミーフットボールフィロソフィー、ビジョンを掲げ選手育成に取り組んでいます。

ACADEMY PHILOSOPHY

サッカー選手として、ひとりの人間として、常にポジティブな態度で行動、決断できる「自立した個」を育成する
サッカー選手としての成長を目指し努力することが、人としての成長に繋がり、サッカーを通じて世の中の大切なことを学ぶことができます。

サッカーの普及活動を通じ、地域と連携、協力しながら将来性豊かな人材を育成する
サッカーの持つ楽しさを知ってもらい、熊本のサッカー人口の裾野を広げ、生涯スポーツの普及に努める。

ACADEMY PLAY STYLE

攻守において、主導権を握ってプレーする
常に自分の100%でプレーし、最後まで諦めない(勝利を目指す)
積極的かつ献身的にプレーし、チームのためにハードワークする
個の育成を図っていくために個別育成計画(I D P)をユースからジュニアまでの全選手に対して実施。また、ストレッチ(飛び級) & 統合を積極的に取り入れ、カテゴリー間の連携をより強めて選手育成強化を図っています。

上手く・賢く・タフに
Technical・Clever・Tough

▶ 大会実績

ユース	
「高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ2021 九州」	9位
「高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ熊本2021 1部リーグ」	暫定4位※
「2021 Jユースリーグ 第28回 Jリーグユース選手権」	暫定2位※
「第32回九州クラブユース(U-18)サッカー選手権大会」	準優勝
<トップ昇格> 谷山湧人→2022シーズン トップチーム昇格	
<代表・トレセン選出> 廣田公明→U-18日本代表候補トレーニングキャンプ選出	

※新型コロナウイルス感染症により全日程が消化されず、暫定順位で終了



ジュニアユース熊本	
<U15A>	
「高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ2021九州」	4位
「2021年度KYFA第36回九州クラブユースU-15サッカー選手権大会」	ベスト16
「2021年度高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会九州予選」	全国大会進出
「2021年度高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会」	全国ベスト8
<U15B>	
「2020年度第15回九州クラブユースU-13サッカー大会」	優勝
「2021JリーグU-14サザンクロスB」	全日程未消化
<U15C>	
「高円宮杯JFAU-13サッカーリーグ2021九州」	4位
「2021年度KFA第16回熊本県クラブユースU-13サッカー大会」	ベスト16
<代表・トレセン選出>	
4/19～4/22 U15A 道脇 豊 →U-15日本代表候補トレーニングキャンプ選出	
5/24～5/27 U15A 道脇 豊 →U-15日本代表候補トレーニングキャンプ選出	
9/26～9/30 U15A 道脇 豊 →U-15日本代表候補トレーニングキャンプ選出	
11/18～11/21 U15B 大濱 和心 →2021ナショナルトレセンU-14後期選出	
11/18～11/21 U15C 増村 凌久 →2021ナショナルトレセンU-14後期選出	
11/18～11/21 U15C 児玉 亜学 →2021ナショナルトレセンU-14後期選出	
11/28～12/2 U15A 道脇 豊 →U-15日本代表候補トレーニングキャンプ選出	
12/3～12/5 U15C 増村 凌久 →JFAストライカーキャンプ選出	



ジュニアユース阿蘇	
「KFA 第36回熊本県クラブユースサッカーU15選手権大会」	ベスト16
「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2021熊本4部菊池阿蘇B」	前期リーグ1位
「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2021熊本4部チャレンジ大会」※3部昇格戦	チャレンジ大会出場
「KFA 第31回熊本県クラブユースU-14サッカー大会」	ベスト8



ジュニアユース人吉	
「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2021熊本4部人吉球磨水俣芦北ブロック」	優勝
「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2021熊本4部チャレンジ大会」※3部昇格戦	3部昇格
「KFA第31回熊本県クラブユースU-14サッカー大会」	準優勝
<代表・トレセン選出> U-14 小園泰士朗→2021ナショナルトレセンU-14選出	



ジュニア	
「KFA 第47回熊日学童オリンピックサッカー競技大会」	ベスト8
「JFA 第45回全日本U-12サッカー選手権大会 熊本県大会」	ベスト8
「第20回スポーツハヤカワカップ KFA 第43回熊本県少年サッカー新人大会(田島杯)U-11熊本県大会」	優勝
「KFA 第53回熊本県少年サッカー選手権大会(大谷杯)熊本県大会」	3位

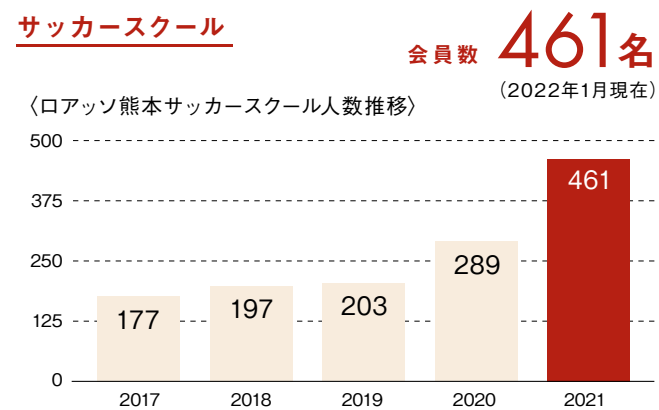
サッカー普及事業

▶ サッカースクール・

キッズキャラバン(幼稚園・保育園巡回指導)・サッカー教室

サッカーを通じて、夢を持つことの大切さ、サッカーの楽しさを伝えていくことを目的として、未来を担う子ども達にサッカーをプレーする機会の創出に取り組んでいます。これらの活動では、ロアッソ熊本やサッカーの魅力を感じてもらうことはもちろん、身体を動かすことを通じてスポーツへの愛着を芽生えさせ、心身ともに健全な発達の促進を目指し、今後も「生涯スポーツの普及」に努めてまいります。

サッカースクール



開催各会場でサッカースクールが広く浸透し、評価を得られたこと、ゴールキーパースクール及びなでしこスクールを新設したことで、会員数が大幅に伸びた。

熊本市を中心に多くのコースで、子どもたちが元気いっぱいサッカーに取り組んでいます。スキルの上達や仲間との協力を通して「遊ぶ・学ぶ・創る」というスクールテーマを体感してくれています。「なでしこスクール」、「ゴールキーパースクール」、「大人のサッカー教室」など、特色のあるコースもあり、ロアッソファミリーとしてみんなで楽しく活動を行っています。

サッカー教室

パートナー企業や自治体と連携し開催する県内各地でのサッカー教室に普及コーチやトップチーム選手が参加しています。参加者のサッカー経験の有無を問わず、誰でも楽しめ、思い出に残るサッカー教室を行っています。

キッズキャラバン

普及コーチが県内各地の幼稚園・保育園を訪問して、行うスポーツ指導プログラムです。参加者全員が楽しめるプログラムでサッカーをはじめ、様々な活動を通して、身体を動かすことが大好き、元気でたくましい子どもに育つことを願い活動を行っています。

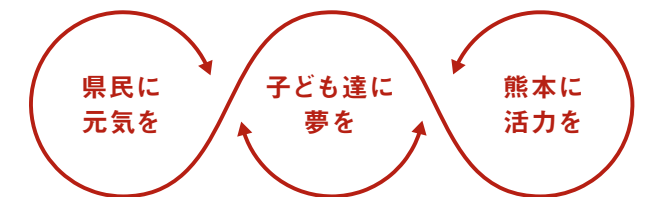


ホームタウン活動

「ホームタウン」と「ホームタウン活動」とは？

Jリーグでは、Jクラブの本拠地を「ホームタウン」と呼んでいます。「Jリーグ規約」には、Jクラブはホームタウンと定めた地域で、その地域社会と一体となったクラブづくりを行いながら、サッカーの普及、振興に努めなければならないことが記されています。つまり、ホームタウンとは「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することが出来る町」を意味しています。

ロアッソ熊本では、「熊本市」を「ホームタウン」と定めていますが、県内全域を活動区域とし、熊本市以外でも、県民のみならず愛されるクラブとなるために、県民のみならず心を通わせるための様々な活動を実践しています。



この理念に基づきながら、行動し、
理念の実現を追求し続ける。

信用・信頼の獲得、
クラブブランドの向上etc

ロアッソ熊本におけるホームタウン活動の最大目標
県民にとっての「無形資産」として
みとめてもらうこと



「熊本」の誇りの中に加わる
ロアッソ熊本を「私たちのもの」という
所有格でとらえてもらうこと

▶ ホームタウン活動5つの戦略課題

1	2	3	4	5
地域との連携	CSR・SDGsへの取り組み	「くまもとブランド」の発信	戦略的 新規顧客開拓	復興支援事業
・熊本県/熊本市を中心とした県内各行政との連携 ・パートナー企業、地域団体、NPO法人等との連携 ・火の国もりあげタイ！ ・県内各地でのサッカー教室の実施および阿蘇・人吉地区でのチーム運営	・サッカーを中心としたスポーツによる健康促進事業 ・教育分野への貢献 ・社会・地域課題解決への取り組み ・県内スポーツ団体と連携した地域貢献事業 ・SDGs、環境課題への取り組み	・公式サイト、公式SNS、スタジアムを活用した発信 ・選手・マスコット・アンバサダーを活用したプロモーション施策の提案 ・全国のJリーグクラブとの連携	・スタジアム周辺エリアでのファンづくり ・Jリーグマーケティングデータベースを活用したエリアマーケティングの実施(活動重点エリアの選定) ・県内における遠方へのアプローチ ・スタジアム来場動機の創出 ・ロアッソ熊本PR、タッチポイントの設置	・熊本地震復興支援事業 ・人吉・球磨を中心とした豪雨災害復興支援 ・「TEAM AS ONE」事業および全国での災害時の支援事業

①地域との連携

- ▶ 熊本県、熊本市を中心とした県内各行政との連携
 - ・熊本県スポーツ振興等事業「ロアッソ熊本ふれあい教室」
 - ・熊本市人権啓発事業「人権マッチ」開催
- ▶ パートナー企業、地域団体、NPO法人との連携（Jリーグ・シャレン!『社会連携活動』※推進）
 - ・熊本トヨタ自動車(株)との県内小学校へのサッカーボール寄贈事業「1ゴールアシスト5」
 - ・KFA第6回熊本スカンビオカップ（障がい者フットサル大会）参加

※シャレン!（社会連携活動）とは、3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、社会課題や共通のテーマ（教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など）に、地域の人・企業や団体（営利・非営利問わず）・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。

- ▶ 火の国もりあげタイ! 事業
 - ・熊本市中央区、美里町、芦北町、あさぎり町をパートナータウンとし、住民招待事業、ホームゲームでの地域物産店などを実施
- ▶ 県内各地でのサッカースクールおよび阿蘇・人吉でのチーム運営
 - ・高森町、人吉地域でのサッカースクールの展開
 - ・高森町、人吉地域でのロアッソカップ（大会運営）の実施



②クラブが行うCSR・SDGsへの取り組み

- ▶ サッカー以外のスポーツによる健康促進事業
 - ・明治安田生命Jリーグウォーキングin熊本
 - ・高森町総合スポーツクラブ「高SPO」グランドゴルフ大会、ウォーキング大会
- ▶ 県内スポーツ団体との連携による地域貢献事業の展開
 - ・スポーツのチカラでくまもとをもっと元気に!「医療従事者支援プロジェクト」
- ▶ 教育分野への貢献
 - ・小中学校での職業講和「プロサッカー選手とは?」
 - ・大学生、パートナー企業と連携したホームゲームイベント企画や職業体験
- ▶ 地域課題解決への取り組み
 - ・高森町、人吉地域でのジュニアユースチームの運営。過疎化が進む地域において、高いレベルでのチーム運営を行うことによる人口流出の緩和
- ▶ SDGs、環境課題への取り組み
 - ・熊本市「ワンウェイプラスチック削減・バイオマスプラスチック等利用促進事業」
 - ・熊本市「生物多様性戦略〜いきもん つながる くまもとCプラン〜」



③「くまもとブランド」の発信

- ▶ 公式サイト、公式SNS、スタジアムを活用した発信
 - ・ロアッソシティプロジェクト「～旅馬～」による地域の魅力発信（合志市、山江村、湯前町）
 - ・火の国もりあげタイ! プロジェクトによる地域の魅力発信（熊本市中央区、美里町、芦北町、あさぎり町）
 - ・スタジアムでの地域物産店（あさぎり町、美里町）
- ▶ 選手・マスコット・アンバサダーを活用したプロモーション施策の提案・協力
 - ・熊本城特別公開第3弾「熊本城天守閣完全復旧記念おかえり編」動画協力
- ▶ 全国のJリーグクラブとの連携
 - ・八戸、沼津、盛岡、宮崎、鹿児島など対戦チーム会場での観光PR事業



④戦略的新規顧客開拓

- ▶ スタジアム周辺エリアでのファンづくり
 - ・託麻西南繁栄会ロアッソマスク着用によるPR
 - ・健軍小学校での挨拶運動、龍田小学校でのロアッソ熊本を活用した授業の実施
- ▶ Jリーグマーケティングデータベースを活用したエリアマーケティングの実施
 - ・シーズンシート、ファンクラブ、JリーグID会員が多いエリアを活動重点エリアと選定（熊本市東区、中央区、北区、合志市、菊陽町、大津町、益城町）
- ▶ スタジアム来場動機の創出
 - ・県民招待事業
- ▶ ロアッソ熊本PR、タッチポイントの設置
 - ・ゆめタウン光の森、下通、新市街、駕町通りなどへの応援バナー設置
 - ・合志市役所、熊本県庁などへの試合告知デジタルサイネージの設置
 - ・新水前寺駅ボスタージャック
- ▶ 県内における遠方の市町村へのアプローチ
 - ・出身選手による表敬訪問や小学校訪問（長洲町、山鹿市）

2022シーズンの取り組みとして

熊本市を中心とした各市町村との連携強化
熊本県各市町村の情報発信、啓発活動への協力など。

パートナー企業や地域団体との連携による社会課題、地域課題への取り組みの強化
フードドライブ、ワンウェイプラスチック削減、ゴミ減量、生物・環境保全など。各パートナーの企業活動や団体独自の活動の特色を活かしたパートナーシップによるSDGsへの取り組み。

小学校・中学校を中心とした教育分野への活動推進
スポーツだけではなく、児童・生徒の生活にいきるJクラブや選手キャリアを活かした教育活動。

▶ スタジアム建設について 熊本県民のみなさんが幸せになるために。 スタジアムを中心としたスポーツ施設の建設

トップレベルの選手たちによりサッカーの魅力をより感じるためには、サッカー専用スタジアムでの観戦が一番です。「いつかはロアッソ熊本もサッカー専用スタジアムで」その夢を、夢で終わらせないためにもクラブは実現に向けて動き出さなければなりません。しかし、私たちが目指すのは、決してサッカー・ロアッソだけではなく、そこに住む人たちが施設があることで幸せになるための施設であることです。サッカーだけではなく、多種目のスポーツを「プレーする」「応援する」「見る」という様々なかわり方が出来、コンサートなど屋外イベント等も出来る

⑤復興支援事業

- ▶ 熊本地震復興支援事業
 - ・9/23福島戦「くまもと復興支援マッチ」における災害予防啓発パネルの展示
 - ・南阿蘇鉄道復旧支援「熊本復興応援プロジェクト」による「ロアッソくんいちごジャム」販売
- ▶ 人吉・球磨豪雨災害復興支援
 - ・7月30日ファンイベントや「くまもと復興支援マッチ」での支援募金活動
 - ・「くまもと復興支援マッチ」における青井阿蘇神社復興ブース
- ▶ 「TEAM AS ONE」事業および全国での災害時支援
 - ・熱海市土砂災害への義援金募金
 - ・「くまもと復興支援マッチ」における福島ユナイテッドFC農業部商品販売

県内スポーツ団体と連携した地域貢献事業の実施
県内プロスポーツチームだけではなく、多数の競技種目、アスリートとの連携による社会貢献事業の実施。

人吉、球磨地方における豪雨災害よりの復興支援事業の実施
募金活動の継続、また県内外への復興支援事業の継続の必要性の発信など。

熊本地震から学ぶ防災や、その他災害からの防災・減災についての啓発活動
今後も起こりうる予測不可能な災害への備えの大切さを、熊本地震の経験を活かしながら、常に啓発、情報発信を行っていく。

施設をつくりたい。
また、熊本だけではなく今後起こりうる可能性のある九州内や九州近隣における災害や有事の際の拠点になれるような「スタジアム」「スポーツ施設」でなければなりません。そうした多目的な機能を持った施設をつくることで、スタジアムを中心とした面的な地域開発となり、当該地域の活性化につながります。
夢を夢で終わらせないように、そして、熊本県民の皆様が幸せに、豊かになれるようなスタジアムの実現に向けて動き出します。

ROASSO KUMAMOTO 2022 WEAR PARTNER

ユニフォーム サプライヤー



ユニフォーム パートナー



公式トレーニングウェア パートナー



練習用トレーニングウェア パートナー



ロアッソ熊本を応援していただいている全ての県民の皆様へ

2021シーズンは、難しい試合が多く厳しい戦いとなりましたが、ロアッソ熊本は、J2リーグ昇格、J3リーグ優勝を成し遂げることができました。ファン・サポーターをはじめ、応援してくださった方、ロアッソ熊本に関わるすべての皆様に厚く御礼を申し上げます。

私たちは、クラブスローガン「闘え！」のもと、J2リーグ昇格を命題としてチーム・クラブが一体となって闘ってまいりました。2年目を迎えた大木監督のもと、チームが一つになり、イニシアティブをとるアクションサッカースタイルを継続し、課題であった守備力はJ3リーグ最少失点と向上し、最終的に15勝9分4敗、勝点54の戦績で1位となり、目標を達成することができました。

また、コロナ禍の影響が続き、応援制限が強いられる状況下で、皆様が工夫を凝らしながら熱い応援をしてくださったことが選手たちに届き、皆様と一体感をもって闘えたことで、この素晴らしい結果を生むことができました。心より感謝申し上げます。

一方、経営面では、コロナ禍やJ3リーグ3年目の影響もあり、収入の柱であるスポンサー料をはじめ、全体的に収入が伸び悩み、最大限の経費削減に努めましたが、昨年度に続き赤字となり、かなり厳しい結果となりました。

さて、2022シーズンは4年ぶりにJ2リーグの舞台での戦いとなります。以前よりもJ2リーグ全体として数段レベルが上がっており、厳しい戦いとなりますが、ロアッソ旋風を巻き起こしたいと思います。

クラブにおいても、経営面の立て直しを図り、より地域や企業様との連携を図り、愛される存在になれますよう精進し、活動していく所存です。

株主様、スポンサー様、行政の皆様をはじめ、県民の皆様におかれましても、今シーズンもロアッソ熊本を応援していただき、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社アスリートクラブ熊本
代表取締役社長 永田 求

役員名簿

		社 名	役 職
代表取締役社長	永田 求	株式会社アスリートクラブ熊本	代表取締役社長
専務取締役	藏原 信博	株式会社アスリートクラブ熊本	専務取締役
取締役GM	織田 秀和	株式会社アスリートクラブ熊本	取締役GM
取締役(非常勤)	池永 成正	アデル・カーズ株式会社	代表取締役社長
取締役(非常勤)	坂本 正	ロアッソ熊本持株会	理事長
取締役(非常勤)	田代 桂一	山鹿温泉リハビリテーション病院	理事長
取締役(非常勤)	前川 隆道	一般社団法人熊本県サッカー協会	会長
取締役(非常勤)	高橋 光宏	高橋酒造株式会社	代表取締役社長
取締役(非常勤)	河村 裕二	株式会社熊本県民テレビ	取締役
取締役(非常勤)	藤本 靖博	平田機工株式会社	取締役常務執行役員
監査役	宮田 房之	宮田総合法律事務所	代表(弁護士)
会計参与	西本 寛	西本会計事務所	代表(税理士)
相談役	田川 憲生	熊本県商工会議所	(前)会頭
相談役	北岡 長生	一般社団法人熊本県サッカー協会	副会長
司法書士	藤山 直秀	藤山司法書士事務所	代表(司法書士)
弁護士	森枝 大輔	宮田総合法律事務所	弁護士

※2022年1月31日現在

【発行】株式会社 アスリートクラブ熊本

設立/平成16年12月21日 資本金/3億4,500万円
所在地/熊本市中央区神水2丁目10-10 tel:096-283-1200

一般社団法人 ロアッソ熊本スポーツクラブ

所在地/熊本市中央区神水2丁目10-10 tel:096-285-3033

